

みつばち高大連携事業が新たにスタート！

～同朋高等学校の養蜂実践を全面支援～

名古屋学院大学は、同朋高等学校、特定非営利活動法人アスクネットと共催で、みつばち高大連携事業を新たに始めます。現在、本学名古屋キャンパス翼館屋上で養蜂しているみつばちのうち1群(1万匹)を同朋高等学校校舎屋上に移動させ、同校で7月に開催予定の「愛知サマーセミナー2017～はちみつ収穫祭～」までの1ヶ月間、名古屋学院大学みつばちプロジェクトのメンバーが養蜂のサポートを行います。はちみつ収穫祭では、10kg超のはちみつ採集を予定しており、採集後は高校生のアイデアによる商品開発を検討しています。6月10日(土)9時00分より、同朋高等学校校舎屋上にて、生徒8名が参加し、第1回目のみつばち内検作業を行います。



【はちみつ収穫祭 in 愛知サマーセミナー2017】

20年以上続いている地域市民と学校が結びついた市民参加型セミナー「愛知サマーセミナー」を2017年度は同朋高等学校にて開催します。「みつばちを使って実践的な学びがしたい」との生徒たちの思いから、セミナーでは、学校でのみつばち飼育を通じて採集された「Made in DOHO」のはちみつで「はちみつ収穫祭」講座を行います。「地域のめぐみを味わう」をテーマに、はちみつを活用して、みつばちが果たす食の仕組みと中村区の新たな魅力発見を目指します。

【今後のスケジュール】

- 7月15日(土)・・・愛知サマーセミナー2017にて「はちみつ収穫祭」を実施(10kg超のはちみつを採集予定)。
- 8月～・・・同朋高等学校校舎屋上にて採集された「同朋はちみつ」を使って生徒が商品開発を行う予定。
- 11月11日(土)、12日(日)・・・名古屋学院大学みつばちプロジェクト、同朋高等学校生徒が「ミツバチサミット2017inつくば」に参加予定。

【名古屋学院大学みつばちプロジェクト】

名古屋学院大学名古屋キャンパス隣りの名古屋国際会議場が、2010年に生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の主会場になったことをきっかけに、大学キャンパス内で養蜂を開始しました。生態系の感じられるまちづくり推進のために地元商店街と協力し、はちみつ関連商品の開発や定期的なはちみつ採集イベントを実施しています。現在、セイヨウミツバチ5万匹をキャンパス屋上にて飼育しています。

<みつばち高大連携事業が新たにスタート！>

- **開催日時**：2017年6月10日(土)9:00～10:00 **みつばち内検作業、10:00～名古屋学院大学現代社会学部 水野 晶夫 教授による講座**
- **開催場所**：同朋高等学校校舎屋上(〒453-8540 名古屋市中村区稲葉地町7-1)
※当日、1階受付にて「みつばちの取材です」とお声掛けください(車の駐車可)。
- **共 催**：同朋高等学校、名古屋学院大学、特定非営利活動法人アスクネット